

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト・問題集 A E A テキスト①③ ヒーリングテキスト 新エステティック学 選択科目編		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	アロマテラピー検定対策 (H 専攻対応) アロマテラピー I で学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ ・東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー				
到達目標	アロマテラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマテラピー検定 1 級 選択科目の技術を安全かつ効果的に行うことができる				
評価基準	筆記試験 40%/小テスト 20%/アロマ検定 1 級合否 20%/授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定 1 級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	エステ研修	—
2	同上	—
3	アロマ 4 検定筆記対策	検定練習問題

4	アロマ検定筆記対策	検定練習問題
5	東洋医学	東洋医学とは 陰陽五行説について
6	同上	五臓六腑について・気・血・水／八綱病証・外因・内因
7	ロミロミ	ロミロミとは
8	同上	マッサージの特徴・有益性・効果
9	フラワー・レメディ	フラワーレメディとは
10	筆記試験	成績評価①
11	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダの歴史・考え方・体質判断について・食事・生活・その他 ドーシャバランスについて
12	カラーセラピー	カラーセラピーについて（効果・特徴） オーラソーマについて・カウンセリング
13	同上	色の言語 ・ カウンセリング
14	筆記試験	色の言語 ・ 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマセラピー総論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピー総論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1 級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック知識総合（H 専攻対応） ・ スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・ 心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマセラピー検定 1 級 合格レベル				
評価基準	筆記試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	アロマセラピー検定 1 級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	1年の振り返り	前期の振り返り
2	1. スキンタッチと効果 ※カウンセリングと連携	感覚器としての皮膚・スキンタッチの重要性 エステティックマッサージとその心理的効果
3	精油紹介① (ホメオスタシス)	トリートメント用 ブレンドオイル作り

4	2. 脳の誕生と進化・機能 (ホメオスタシス)	ヒトの脳・脳と心
5	精油紹介② (ホメオスタシス)	シアバタークリーム作り
6	3. 脳神経の構造と働き ※カウンセリングと連携	脳の基本構造 各部の役割（大脳皮質・間脳・脳幹・小脳）
7	同上	脊髄の構造と働き 末梢神経の種類・神経の伝達経路
8	4. ホメオスタシス ※カウンセリングと連携	外部環境への適応 ホメオスタシスの三角形の各メカニズム
9	精油紹介③ (ホメオスタシス)	ハンガリアンウォーター・化粧水作り
10	5. ストレス ※カウンセリングと連携	ストレスとその正体・ストレスとホメオスタシス・病気 ストレスと上手に付き合う方法・職場とストレス 成績評価①
11	精油紹介④ (ホメオスタシス)	手作りせっけん・石けん素地
12	6. 心と肥満のかかわり ※カウンセリングと連携	肥満の要因・思春期の肥満・女性の肥満
13	アロマ1級範囲 復習 ①	アロマセラピーと環境・植物が育んだ生命・身のまわりにある植物と香り アロマセラピーの源流・精油が心身に作用する経路
14	アロマ1級範囲 復習 ②	植物と共に生きてきた私たちの歴史/いま地球が抱えるさまざまな難問 1人ひとりができること から～未来の子どもたちのため 成績評価② 模擬試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	アロマテラピー総論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピー総論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1 級 A E Aテキスト 心身生理学 メディカルハーブテキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会 会 日本エステティック業協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	エステティック知識総合（H 専攻対応） ・ スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き ・ 心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール				
到達目標	アロマテラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマテラピー検定 1 級 合格レベル				
評価基準	筆記試験 60%/小テスト 10%/授業態度、提出物など 10%/アロマ検定 1 級合否 20%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定 1 級				
関連科目	スパセラピー				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	エステ研修	—
2	同上	—
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価③
4	ハーブのプロフィール メディカルハーブの効果と仕組み	ウスベニアオイ

5	同上	エキナセア
6	同上	エルダーフラワー
7	ハーブのプロフィール メディカルハーブを使う ハーブによる癒しのレシピ	セントジョワンズワート ハーブ以外の材料
8	同上	ネトル・安全に使用するために メディカルハーブの効果と仕組み筆記試験 成績評価④
9	同上	・ダンディライオン・ラズベリールーフ・ジャーマンカモミール／パッションフラワー アトピー性皮膚炎・湿疹・不安・緊張
10	同上	・リンデン ・ハーブを利用するための様々な方法(湿布) ・花粉症・肩こり・腰痛(温湿布)
11	同上	・ジャーマンカモミール(復習)・ハーブを利用するための様々な方法(チンキ)/しみ・色素沈着の 予防 ・ハイビスカス／マテ ・スポーツ前の集中力と持続力のアップ
12	同上	マルベリー／ローズヒップ ダイエット・肌荒れ・外傷
13	同上	・不眠・抑うつ(リンデン)・胃の不調・ペットのケア(ペパーミント) ・二日酔い(ペパーミント・ダンディライオン・ローズヒップ)
14	同上	風邪・インフルエンザ(エキナセア・エルダーフラワー) 目の疲れ(ウスベニアオイ・ジャーマンカモミール)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピー I		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピー I		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10 冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエーヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる				
評価基準	実技試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディ II、エステティックカウンセリング II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ペディキュア	2 コマ：オリエンテーション 2 コマ：ペディキュア デモンストレーション
2	ペディキュア リフレクソロジー	ペディキュア デモンストレーション・練習
3	同上	リフレクソロジー反射区《理論》 手技（親指の使い方）反射位置・効果・注意点 ペディキュア 練習
4	同上	台湾式フットマッサージ《理論》・フットケアについて 疾病・道具・フットバス・足の観察 相モデルで練習 ・ ペディキュア 練習

5	同上	リフレクソロジー・ペディキュア 成績評価①
6	オリジナル・スエディッシュマッ サージ導入	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入
7	スエディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモ
8	同上	オリジナルマッサージ 練習
9	同上	オリジナルマッサージ 練習
10	同上	オリジナルマッサージ 練習
11	ロミロミ アロマセラピー	プレ・前操作・ブレンディング 背部
12	同上	下肢背面・下肢全面・ブレンディング
13	同上	腹部・デコルテ・頭部・ブレンディング
14	同上	ブレンディング コンサルテーション・的確な部位のマッサージ～クロージング 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	スパセラピー II		
必修選択	選択	(学則表記)	スパセラピー II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編 I 理論編 III AEA テキスト 10 冊セット・ヒーリングテキスト エッセンシャルオイルセット・クリエーヌ化粧品セット			出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる				
評価基準	実技試験 60%/授業態度・提出物など 20% エステ研修試験結果 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティック総論、アロマセラピー総論、プロボディ II、エステティックカウンセリング II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	エステ研修	—
2	同上	—
3	タラソセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
4	同上	タラソパック デモタラソの活用実技 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パック

5	ストーンセラピー (マッサージ手技はスウェディッシュ)	ホット・コールドホット石の歴史 チャクラとは？チャクラの位置
6	同上	前操作～腰背部～下肢後面 のデモンストレーション・練習
7	同上	仰向けへのセット～下肢前面・腕・デコルテのデモンストレーション・練習
8	同上	成績評価①
9	脱毛(実技理論含む)	脱毛理論(全体で 6 時間) 禁忌・注意事項など
10	同上	脱毛理論・実技・最新脱毛機器について
11	アーユルヴェーダ	背中～腕のデモンストレーションと練習 背中～腕の練習
12	同上	脚後面のデモンストレーションと練習 脚後面の練習
13	同上	上半身前面のデモンストレーションと練習 上半身前面の練習
14	同上	カウンセリング～マッサージ (体質判定・オイル選び・部位選択) 成績評価②
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1 年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカulpture やジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定 1 級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30％・授業態度他 10％・筆記テスト 30％・実技テスト 30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカulptureⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平野 淑子	実務経験		○	
実務内容	サロンにてネイリストとして従事。JNA 認定講師資格を取得し講師業務に携わる				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入 1 年次の復習	1 年間の授業の流れ 1 年次及び JNA 2 級の振り返りをし ジェル中級に向けて
2	JNA 2 級検定の振り返り ジェル中級について	同上
3	ジェル中級対策	ジェル中級検定に向けての 実技練習 ※ 各校の検定実施日に併せて日程調整
4	ジェル中級対策	同上

5	ジェル中級対策	同上
6	ジェル中級対策	同上
7	1 級実技対策 または ジェル中級対策	1 級検定のセッティング及び流れを覚える 2 級受験者も後日の受験に備え 1 級検定について学ぶ
8	1 級実技対策 イクステンション	同上
9	1 級検定筆記模擬試験・対策	同上
10	1 級実技対策イクステンション 2 級実技ケア(ラウンドニッパー強化)	教員だけで実技チェックするのではなく、チェックシート等を用いて 生徒同士でチェックし自身の弱点を 克服していく
11	1 級実技対策イクステンション 2 級実技対策ケア	同上
12	1 級実技対策アート 2 級実技対策後半実技	同上
13	実技テスト	同上
14	筆記テスト 実技対策	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	1 年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカulptureやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定 1 級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカulptureⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定にむけて (筆記・実技)	検定へ向けて総仕上げ
2	〃 (実技)	同上
3	ジェル上級検定実技	ジェル上級検定について 説明と実技練習
4	〃	同上

5	ジェル検定実技 (中級または上級)	実技練習 ※ 各校の検定実施日に併せて 日程調整をする
6	ジェル検定実技 (中級または上級)	同上
7	ジェル検定実技 (中級または上級)	同上
8	ジェル検定実技 (中級または上級)	同上
9	ジェル検定実技 (中級または上級)	同上
10	ジェル検定実技 (中級または上級)	同上
11	1・2 級ジェル検定振り返り 再検定に向けて（不合格者） 1・2 級ジェル検定実技	1・2 級再受験者・ジェル検定受験者 それぞれの受験検定の実技を練習
12	1・2 級検定・ジェル検定実技	同上
13	実技テスト	同上
14	筆記テスト 実技練習	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3級・2級・1級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明・DVD・デモ	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて
2	1級実技対策イクステンション	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする 2級受験者も後日の受験に備え 1級検定について学ぶ
3	JNEC1級対策	同上
4	JNEC1級対策	同上

5	J NEC 1 級対策	同上
6	1 級実技対策イクステンション 2 級実技対策	J NEC 1 級検定に向けての実技練習 リベンジ者は 2 級練習 必要に応じて、ジェル中級対策
7	1 級実技対策イクステンション 2 級実技対策	同上
8	1 級 2 級実技対策 筆記テスト	同上
9	1 級実技対策イクステンション 2 級実技対策ケア (ラウンド・プッシャー・ニッパー 強化)	受験級を中心に強化練習 教員だけで実技チェックするのでは なく、チェックシート等を用いて 生徒同士でチェックし自身の弱点を克服
10	1 級実技対策委クステンション 2 級実技対策 ケア	同上
11	1 級実技対策委クステンション 2 級実技対策 後半実技	同上
12	1 級実技対策 アート 2 級実技対策 後半実技	同上
13	実技テスト	同上
14	実技テスト	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	1 年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、 サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する		
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定 1 級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得		
評価基準	検定結果 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	志水 妙子 他 1 名	実務経験	○
実務内容	サロンにてネイリストとして従事。JNA 認定講師資格を取得し講師業務に携わる		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定にむけて（筆記・実技）	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	〃（実技）	同上
3	1級検定実技	同上

4	スカルプ・クリア 10 本	サロンワーク対応の技術を練習する マシンを使用してのオフ・お直しも併せて学ぶ フレンチやフィルイン・フィルアウトなどの 説明とデモも加える 生徒の理解度や技術レベルにより 適宜内容前後や変更を行う
5	スカルプチュア 10 本 (グラデーション)	同上
6	〃	同上
7	スカルプ フレンチデモ・実技	同上
8	スカルプ フレンチ 実技	同上
9	スカルプフレンチ 実技 バーチャルフレンチ デモ	同上
10	スピードスカルプチュア ナチュラル (相モデル)	同上
11	スピードスカルプチュア ナチュラル (相モデル)	同上
12	サロンでの長さだし	同上
13	筆記試験 実技試験	2 年間で学んだ実技をチェック
14	実技試験	同上
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30％・授業態度他 10％・筆記テスト 30％・実技テスト 30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモ・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ実技

6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする
8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモ実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果 30％・授業態度他 10％・筆記テスト 30％・実技テスト 30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ジェルスカルプ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプ実技
2	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルプとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルプ実技(相モデル)	ジェルスカルプ実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技

6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	上級検定実技④	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
8	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ 維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度 20％・実技テスト 80％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト

6	アート①	チップ作成によるアート
7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート④	チップ作成によるアート
9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ 維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度 20%・実技テスト 80%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にプロケアとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成

6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア II		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1 年次復習	これまでの振り返りと 2 級検定振り返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシーンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシーンを使用した、トリートメント、カラー

6	フットケア④	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア⑥	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア（マシン） カラー①	ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア（マシン） カラー②	ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、 更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他 20％・筆記テスト 40％・実技テスト 40％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシーンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシーンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシーンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（メタルプッシャー）を学ぶ

6	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
7	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
8	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
9	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア（ネイルマシン）を学ぶ
10	フットケア（マシン） マシンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ
11	フットケア（マシン） マシンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルのマシンオフ
12	実技試験①	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアート II		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアート II		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから 3 D アートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出 90% ・授業態度他 10%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2 級検定実技	1 年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2 級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3 D アート基礎	3 D の基本的な花やモチーフの実技

6	3 Dアート応用	3 Dアート応用の花やモチーフの実技
7	3 Dアート（検定用）	検定用3 Dアートに実技
8	エアープラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える
9	エアープラシ応用①	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアープラシ応用②	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3 Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3 Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート①	1 級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	1 級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから 3 D アートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出 90％・授業態度他 10％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級・1 級／JNA ジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	検定用アート①	1 級検定アートの実技
2	検定用アート③ タイムトライアル	1 級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート② タイムトライアル	1 級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ・実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する

6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作①	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する
9	作品制作②	テーマと技法(エアー・フラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	2年間の総復習
12	卒業制作②	2年間の総復習
13	卒業制作③	2年間の総復習
14	卒業制作④	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠーG		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う		
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける		
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	及川 溪	実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンに長年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	

7	サロンワーク技術練習	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ ・BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡーG		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う		
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける		
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	及川 湊	実務経験	○
実務内容	トータルビューティーサロンに長年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	

7	サロンワーク技術練習	・様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする ・施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ ・施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト			出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ		
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)		
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)		
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田島 裕子	実務経験	○
実務内容	エステサロンでエステティシャンとして長年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系
5	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	カラダをつくる食事

6	同上	バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7	同上	腸を整えよう
8	同上	カラダをあたためよう・腸活と温活
9	同上	食事とアンチエイジング
10	同上	同上
11	同上	オイルとエイジングケア・レシピ紹介
12	同上	テスト 成績評価①
13	カラダの内側から整える Lesson2 カラダを休める睡眠	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14	同上	質のよい睡眠の条件 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト			出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験 60%・小テスト 20%・授業態度、提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カラダの内側から整える Lesson3 カラダを巡らせる運動	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
2	同上	運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには
4	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
5	同上	肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)

6	同上	同上
7	同上	美しいカラダを保つためのボディケア
8	同上	スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
9	総合まとめ	成績評価③
10	カラダの外側から整える Lesson2 ヘアケアで美しい髪	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
11	同上	同上
12	毎日の心がけで ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
13	同上	Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
14	総合まとめ	ナチュラルビューティースタylist検定 模試 成績評価④
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅡーG		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅡーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用		
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマセラピー検定 1 級合格レベル		
評価基準	筆記試験 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	アロマセラピー検定 1 級		
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	櫻屋 政美	実務経験	○
実務内容	エステサロンでエステティシャンとして長年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	振り返り
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール（サイプレス・ジャーマンカモミール）
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール（ジャスミン・パチュリ）
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール（ブラックペッパー・ペチパー）
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール（ベンゾイン・ミルラ）

6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール（メリッサ・ローズオットー）
7	総合まとめ	成績評価① アロマ検定プレテスト
8	精油紹介①	トリートメント用 ブレンドオイル作り
9	精油紹介②	シアバタークリーム作り(バーム)
10	同上	同上
11	精油紹介③	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12	同上	同上
13	精油紹介④	手作りせっけん・石けん素地
14	同上	同上
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマセラピーⅢーG		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマセラピーⅢーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマセラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマセラピー検定対策 アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用		
到達目標	アロマセラピーにを家族や周囲の人々ともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる アロマセラピー検定 1 級合格レベル		
評価基準	筆記試験 60%/小テスト 10%/授業態度、提出物など 10%/アロマ検定 1 級合否 20%		
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者		
関連資格	アロマセラピー検定 1 級		
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅢ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	精油紹介⑤	オリエンテーション 練香水作り
2	同上	練香水作り
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価②
4	ナチュラルビューティーに関わる植物	覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)
5	同上	植物(エルダーフラワー・甘草・クコ)

6	同上	植物(クローブ・月桃・ごぼう)
7	同上	植物(サフラン・しょうが・すぎな)
8	同上	植物(セージ・タイム・チャ)
9	同上	植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)
10	同上	植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)
11	同上	植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)
12	同上	総合復習
13	筆記試験	植物図鑑より 小テスト
14	模擬試験	模擬試験 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	藤田 知世子		実務経験	○	
実務内容	エステサロンでエステティシャンとして長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論（皮膚学） カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディープクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディープクレンジング 吸引	スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)

6	ディープクレンジング ブラシ	ブラシの使用方法 デモ・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①
9	ディープクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはディスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディープクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12	同上	成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	フェイシャル＆ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル＆ボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエヌ化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	フェイシャル＆ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試 60%/小テスト 20%/授業態度・提出物など 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル＆ボディⅠ・アロマセラピー総論Ⅱ・生理学解剖学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ボディ技術理論（生理解剖学） カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
2	マッサージ復習 コンサルテーションシート	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
3	同上	復習
4	下肢前面	デモスト・手技・拭き取り
5	同上	相モデル練習

6	同上	成績評価①
7	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
8	同上	通し練習
9	アロマセラピーのある暮らし精油 のプロフィール	香りのイメージ 安全の為の注意／イランイラン
10	アロマトリートメント(全身)	精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュニパーベリー
11	同上	芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
12	同上	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
13	同上	全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
14	同上	成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアート I - G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアート I - G		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 J N E C 2 級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えて J N E C 2 級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40% 後期：アート作品 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
5	2 級ケア・アート練習	2 級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する

6	チップラップ実技	チップラップ実技
7	チップラップ実技	チップラップ実技
8	2 級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	2 級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
10	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
11	ペディキュア	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ - G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ - G		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、 J N E C 2 級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えて J N E C 2 級取得レベルとサロンで通用する技術ができる				
評価基準	前期：授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40% 後期：アート作品 30%・授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期複習	1 年次・2 年次前期に学んできた事を復習をする
2	2 級検定練習	2 級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2 級検定練習	2 級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明 エンボスアート	エンボス・3 D アートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3 D アートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ

6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
15	総合授業	同上

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェル I		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェル I		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNEC2 級・J N A ジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、 サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	J N A ジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果 30%・宿題/授業態度他 10%・筆記テスト 30%・実技テスト 30% 後期：宿題/授業態度他 20%・筆記テスト 40%・実技テスト 40%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ	教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまでデモンストレーション
2	初級検定説明・デモ	初級検定説明・デモ
3	クリアカラー実技	ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ
4	ジェル初級検定実技①	初級検定内容を学び・技術を学ぶ

5	ジェル初級検定実技②	ジェル初級検定実技
6	ジェル初級検定実技③	ジェル初級検定実技
7	ジェル初級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	ジェル初級検定実技⑤	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	実技テスト①	実技テスト
10	実技テスト② 筆記テスト	実技テスト 筆記テスト
11	JNEC 2 級検定実技①	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	JNEC 2 級検定実技②	2 級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	JNEC 2 級検定実技③	2 級検定の実技の練習を繰り返し行う
14	JNEC 2 級検定実技④	2 級検定の実技の練習を繰り返し行う
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	講義	科目名	検定対策＆ジェルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策＆ジェルⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNA テクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO 法人日本ネイリスト協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	JNEC2 級・ J N A ジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、 サロンでお客様に説明しながら施術が出来る				
到達目標	J N A ジェル検定初級の合格し、サロンで通用する技術を身に付ける				
評価基準	前期：ジェル初級検定結果 30％・宿題/授業態度他 10％・筆記テスト 30％・実技テスト 30％ 後期：宿題/授業態度他 20％・筆記テスト 40％・実技テスト 40％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	JNEC ネイリスト検定 3 級・2 級				
関連科目	ネイルケア＆ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	前期複習	1 年次・2 年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
2	JNEC 2 級検定実技①	タイム取りをして検定実技の練習を行う
3	JNEC 2 級検定実技②	タイム取りをして検定実技の練習を行う
4	筆記テスト JNEC 2 級検定実技③	筆記テスト タイム取りをして検定実技の練習を行う
5	JNEC 2 級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う

6	ジェルネイル①	フレンチ・グラデーションデモ・実技
7	ジェルネイル②	フレンチ・グラデーション・実技
8	ジェルネイル③	フレンチ・グラデーション実技
9	ジェルネイル④	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技
10	ジェルネイル⑤	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
11	ジェルネイル⑥	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
12	ジェルネイル⑦	ジェルアート
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア＆メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア＆メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1 年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬場 絵里奈		実務経験	○	
実務内容	美容部員として長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1 年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1 年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)

7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア＆メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア＆メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	1 年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬場 絵里奈		実務経験	○	
実務内容	美容部員として長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
2	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
3	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
4	和装スタイル④	和装シーン、テーマに合わせて和装(テスト)
5	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
6	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)

7	パーティースタイル③	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
8	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
9	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
10	アレンジスタイル③	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
11	アレンジスタイル④	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン (展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	
	メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア＆メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬場 絵里奈		実務経験	○	
実務内容	美容部員として長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習 ①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色とトーン	色の持つイメージ・トーンの持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。 また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。 また、質感の特徴も理解する

6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。
9	スチールメイク②	SNS や雑誌等を活用してスチールメイクをする
10	スチールメイク③	SNS や雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式		出版社	ユアサポート	
	メイクアップテキストアドヴァンス（デジタルテキスト）				
科目の基礎情報②					
授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト 50%、提出物 30% 授業意欲等 20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア＆メイクⅡ、パーソナルヘア＆メイクⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	馬場 絵里奈		実務経験	○	
実務内容	美容部員として長年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成

7	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
8	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする
10	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
11	卒業制作①	卒業制作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作②	メイク練習
13	卒業制作③	卒業制作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作④	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス 学校教材か個人教材にてヨガマット、フォームローラーを使用		出版社	マイナビ出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる ヨガやピラティスのポーズを実施する				
評価基準	テスト・小テスト：70% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験	○	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点／違いについて（実技なし）
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ／歴史、ヨガとエクササイズの違い（実技：基本姿勢の実践）
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的／肉体的な効果と精神的な効果（実技：基本姿勢からのアーサナ）
4	ヨガの基本プロセス	ヨガの実践方法／3 つのプロセス、ヨガの実践のポイント（実技：基本姿勢からのアーサナ）
5	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果（実技：呼吸を意識してポーズの実践）

6	ヨガの種類、Q&A	ヨガのいろいろな種類、ヨガへの素朴な疑問と答え（実技：ヨガフロー）
7	ヨガの瞑想	瞑想とは、瞑想のメカニズム（実技：ヨガフロー）
8	ヨガの瞑想	瞑想の効果、自分と向き合う（実技：ヨガフロー）
9	ヨガの瞑想	シャバーサナの必要性（実技：ヨガフロー、瞑想の実践）
10	チャクラについて	チャクラの場所と効果（実技：チャクラを意識したヨガ）
11	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らし（実技：月の満ち欠けに合わせたヨガ）
12	ヨガ筆記テスト①	実技：ヨガフロー
13	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える（実技：ヨガフロー）
14	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について（実技：太陽礼拝）
15	パワーヨガ	パワーヨガの歴史と効果について（実技：パワーヨガ）

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	これ 1 冊できちんとわかるヨガ、ピラティス 学校教材か個人教材にてヨガマット、フォームローラーを使用		出版社	マイナビ出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る				
到達目標	美しい姿勢をアドバイスできるようになる ヨガの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる ピラティスの心身に与える影響を説明し、プログラミングが出来るようになる				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	ピラティスとは何か	ピラティスのルーツ／歴史、目指すところ（実技：基本姿勢について）
2	ピラティスの目的と効果、基本プロセス	ピラティスの効果、実践のポイント、呼吸法（実技：基本姿勢からのピラティス）
3	ピラティスの種類、Q&A	ピラティスのいろいろな方法、ピラティスへの素朴な疑問と答え（実技：基本姿勢からのピラティス）
4	正しい姿勢とは	姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢（実技：基本姿勢からのピラティス）
5	姿勢のチェック	自分の姿勢をチェック、それぞれの対処法（実技：姿勢トラブル別改善ピラティス）

6	悪い姿勢の原因	不良姿勢の原因ともたらすトラブルについて、二足歩行が骨格に与えた影響 (実技：姿勢トラブル別改善ピラティス)
7	正しい姿勢を手に入れるには	姿勢を支える筋肉／抗重力筋と体幹のインナーマッスル (実技：インナーマッスルを意識したピラティス)
8	身体の不調	身体の不調はなぜ起こるのか (実技：身体の不調改善ピラティス)
9	筋膜について	筋膜とは何か、筋膜の特徴 (実技：フォームローラーの実践)
10	筋膜について	筋膜リリースの効果と実践方法 (実技：フォームローラーの実践)
11	ピラティス筆記テスト②	実技：フォームローラーの実践
12	背中メゾット	簡単エクササイズ方法の紹介 (実技：背中エクササイズ)
13	部分エクササイズ	トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編 (実技：集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編)
14	部分エクササイズ	トラブルの原因／くびれ、美脚、バストアップ編 (実技：集中エクササイズ／くびれ、美脚、バストアップ編)
15	課題作成	エクササイズを調べる (実技：ヨガ&ピラティス)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックス I		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックス I		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材酵素ドリンク・ハーブティー（各校判断）		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る		
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる		
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学1、Ⅱ、概論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	村田 真利亜	実務経験	○
実務内容	エステティシャンとして長年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について解説 各々が考える「デトックス」とは何か考える
2	導入 デトックスとは	生活習慣のチェックし自身の生活習慣を振り返る 生活の中にありふれている沢山の毒について学ぶ
3	体の毒とアンチエイジングの基礎 知識	生活の中に溢れている毒を学ぶ
4	【デトックス基礎編】 避けられない毒とは 酸化 糖化 炎症 老化のサインは糖尿病になって 現れる	避けられない毒、酸化について学ぶ

5	同上	糖化について学ぶ
6	同上	炎症について学ぶ
7	同上	毒の悪循環と糖尿病について学ぶ
8	・グループワーク ・個人ワーク	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとにまとめ ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症について個人ごとにまとめ
9	成績評価①	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとに発表 ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症のレポートを共有、復習する
10	老化とアンチエイジング	老化とは何か アンチエイジングとは何かを学ぶ①
11	同上	アンチエイジングとは何か学ぶ② アンチエイジングの取り入れ方を学ぶ
12	テスト 成績評価②	理解度の確認
13	デトックスの仕組みや方法	代謝について学ぶ 各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、アロマ、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど）
14	同上	同上
15	総合授業	前期 総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情①					
授業形態	講義	科目名	デトックスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門 ※学校教材酵素ドリンク・ハーブティー（各校判断）		出版社	幻冬舎	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	食事・科学物質・環境・ストレスなど体内に蓄積しやすい有害物質を理解し、解毒排出方法を知る				
到達目標	デトックスについて様々な知識を習得し、日常の中で実践できる				
評価基準	テスト・小テスト：70％ 授業態度：10％ 提出物：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学 1、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	身体のデトックスの仕組みを学ぶ
2	同上	過剰毒について学ぶ
3	同上	デトックス効果（全身）について学ぶ
4	同上	酸化予防について学ぶ
5	同上	糖化予防について学ぶ

6	同上	炎症の予防について学ぶ①
7	同上	同上
8	同上	ファスティングについて学ぶ ※酵素ドリンク試飲
9	同上	水素ケアや水素療法について学ぶ
10	まとめ	教科書の総まとめを行う
11	テスト 成績評価③	理解度の確認
12	デトックスの方法	デトックスに効果的な反射区やデトックス技術を知る
13	同上	各種デトックスの方法を知る（食材、食事、水、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど） ※ハーブティー試飲
14	成績評価④	・ペアに合った具体的なデトックス方法のアドバイスをデモで発表 ・自分に合った具体的なデトックス方法のアドバイスのレポート作成
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学 I		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学 I		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2 級テキスト			出版社	日本ダイエット健康協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定 2 級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得 30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることの意義 (P21~26)、自己分析 第 2 章 Q1~Q5 について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第 3 章 Q6~Q10
3	体脂肪の基礎知識	第 4 章 Q11~Q15
4	カロリーと栄養素とダイエット	第 5 章 Q16~Q20
5	同上	第 5 章 Q21~Q25

6	模擬試験①	第 2 章～第 5 章 成績評価①
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第 6 章 Q 2 6～Q31
8	インスリンと GI 値	第 7 章 Q 3 2～Q34
9	運動とダイエット方法論	第 8 章 Q 3 5～Q40
10	模擬テスト	成績評価②
11	模試解説	模擬試験の解説
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説
13	第 1 章 ダイエットと栄養素	PFC バランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について
14	同上	ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズム
15	第 2 章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的使用方法

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2 年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2 級テキスト			出版社	日本ダイエット健康協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る				
到達目標	健康で美しい体を維持するための方法を理解し 日本ダイエット健康協会ダイエット検定 2 級を取得する				
評価基準	テスト・小テスト：40% 検定取得 30% 授業態度：10% 提出物：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第 3 章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞
2	第 4 章 GI 値と内分泌系の基礎	GI 値の定義～同化・異化のシステムコントロール
3	第 5 章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方
4	第 6 章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
5	同上	筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DIT エネルギー消費量比較

6	模擬試験	成績評価③
7	模試解説	模擬試験の解説
8	第 6 章 運動と筋肉と代謝（補足）	運動実践
9	総合まとめ	1 級・2 級検定内容の振り返り
10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		45
使用教材				出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	インターンシップ		インターンシップ		
2	インターンシップ		インターンシップ		
3	インターンシップ		インターンシップ		
4	インターンシップ		インターンシップ		
5	インターンシップ		インターンシップ		
6	インターンシップ		インターンシップ		
7	インターンシップ		インターンシップ		
8	インターンシップ		インターンシップ		
9	インターンシップ		インターンシップ		
10	インターンシップ		インターンシップ		
11	インターンシップ		インターンシップ		
12	インターンシップ		インターンシップ		
13	インターンシップ		インターンシップ		
14	インターンシップ		インターンシップ		
15	インターンシップ		インターンシップ		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60％ 学校側評価40％（ビジネスマナー20％・各コース該当項目20％）				
認定条件					
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	インターンシップ	インターンシップ
2	インターンシップ	インターンシップ
3	インターンシップ	インターンシップ
4	インターンシップ	インターンシップ
5	インターンシップ	インターンシップ
6	インターンシップ	インターンシップ
7	インターンシップ	インターンシップ
8	インターンシップ	インターンシップ
9	インターンシップ	インターンシップ
10	インターンシップ	インターンシップ
11	インターンシップ	インターンシップ
12	インターンシップ	インターンシップ
13	インターンシップ	インターンシップ
14	インターンシップ	インターンシップ
15	インターンシップ	インターンシップ